

構文論と意味論

2024/12/01 東京大学数理科学研究科M2 金相佑

構文論と意味論



- 言語学=構文論+意味論
- 構文論とは、文字の列から文を作る理論
- 意味論とは、文に対して意味を割り当てる理論



構文論

構文とは、

- ①文字列が文であるかどうかを判断する
- ②文から文への変換を(あれば)与える
- の2要素からなる。



①文字列が文であるかどうかを判断する

文	非文
私は今発表している	は発表今している私
1+1+1+1	++111+1+
Today is Sunday.	TToday iis SSunday.
Monday is Sunday.	Monday Sunday is.
Colorless green ideas sleep furiously.	Furiously sleep ideas green colorless.



②文から文への変換を(あれば)与える

変換前	変換規則	変換後
I am here	→疑問文の生成→	Where am I
1+1+1+1	→数値の計算→	4
A = 1 B = 2 C = 3 print(A)	→最適化→	A = 1 print(A)



構文論

そもそも文とは何か?

→ここでは、以下のように規則によって再帰的に生成されるものとする

N = 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | N 0 | N N

 $S = N \mid S + S$

→これに従うと、1+1+1+1は文、++111+1+は非文



• 意味論

文の意味、指示内容を考える。様々な方法がある。

• 表示的意味論

言語は文字列そのままでは意味がわかりにくい。

→既知の別の言語、文脈(特に数学的対象)に翻訳して意味を解釈する。



例えば、以下のように、1,2,3,...と+の言語を の数に翻訳できる。

Nは

の数、Sは

を集めた数

この意味付けだと両者は等しい。

意味付けの方法は色々ある。番号札1番の人を4回呼ぶなど...



• 意味論

以下のような意味付けがよく行われる。

構文	意味
英語	現実世界
(Colorless green ideas sleep furiously.)	(なし)
数式	数学的構造
プログラム言語	ハードウェア
(プログラム)	(電子の操作)



多くの言語を意味付けられるような(良い)世界はなにか?

• 圏論

関係性と普遍性を記述することに特化した数学的対象。

• 圏論的意味論

意味付けを圏論において行う

[1+1+1+1] ⇒ **6666**

としても良い。

本質は、集められたものが対等であるという関係性。



では、良い構文とは?

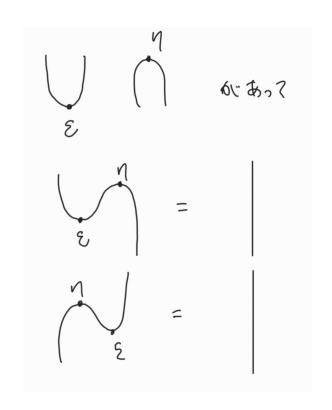
→直感的に扱いやすいこと

String Diagram

幾何的な構文。文字からなる数式よりも、使いやすい

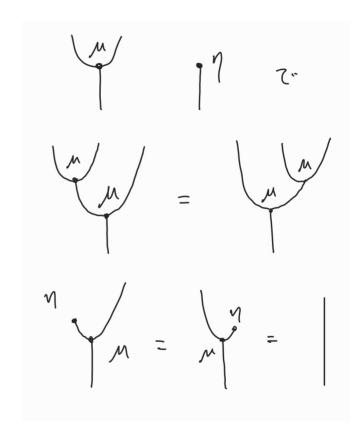


```
C,Dを圏とする
函手F:D \rightarrow C,G:C \rightarrow Dが随伴であるとは、自然変換
\epsilon:FG \rightarrow 1
\eta:1 \rightarrow GF
であって、
\epsilon F \circ F \eta = 1
G \epsilon \circ \eta G = 1
を満たすものがある時を言う。
```





Cを圏とする函手 $T: C \rightarrow C と 自然変換$ $\mu: TT \rightarrow T$ $\eta: 1 \rightarrow T$ がモナドであるとは $\mu \circ T \mu = \mu \circ \mu T$ $\mu \circ T \eta = \mu \circ \eta T = 1$ を満たす時を言う。

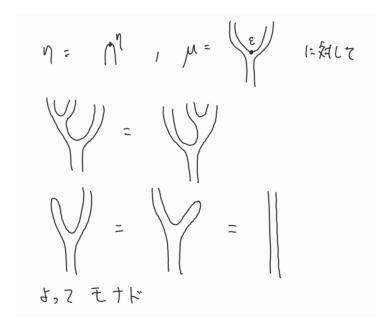




定理:C,Dを圏とする

 $T = GF, \mu = F \epsilon G$

とすると、T,μ,ηはモナドとなる





Premonoidal圏のtrace

